

ロシアによるウクライナ軍事侵攻に強く抗議し即時撤退を求める

2022 年 2 月 24 日に、ロシア連邦のプーチン大統領は独立国家であるウクライナ共和国への軍事侵攻を開始しました。この軍事侵攻は、他国に対する武力行使を禁止する国連憲章に反しており、国連加盟国に認められた個別自衛権の行使または集団的自衛権の行使にも該当しません。世界の平和と安全を破壊し、人間の尊厳を踏みにじる一方的な侵略戦争です。

同年 3 月 7 日の日本の新聞報道によれば、ロシア連邦による空爆の対象は軍事基地及びエネルギー基地に留まらず、住宅や学校のある都市部にも拡大し、民間人の犠牲者が急増しています。ウクライナ共和国の発表によれば、同国の死者数は 2000 人超に及び、国連の発表では同国から周辺国への避難者は 200 万人に及んでいます。ロシア連邦の地上部隊が首都キエフを攻囲するために進軍していくことにより、軍事侵攻のさらなる犠牲者が増大する危険性があります。

東海地区私立大学教職員組合は東海地区の私立大学で働く教職員の組合です。大学は学術研究の信頼性及び公正性と自由な研究活動の確保を通じて、世界の平和と安全、学生・人間の尊厳等の人類の共通課題に貢献する高等教育機関です。この目的を持つ機関で働く大学教職員にとって、世界の平和と安全を破壊し、人間の尊厳を踏みにじる侵略戦争は許すことができません。

私達は、現下の状況を憂慮し、武力行使により一方的に現状を変更しようとするロシア連邦に対して強く抗議し、ウクライナ共和国からの即時撤退を求めます。また私達は、日本政府に対して経済制裁を含む平和的手段を通じて国際社会と共に世界の平和と安全の秩序構築に全力を尽くすように求めます。さらに私達は、ウクライナ共和国及びロシア連邦国の国民を含め世界各国で反戦運動を進める人々、世界で侵略戦争に対して抗議する人々または平和運動を進める人々と連帯していく決意を表明します。

以上、決議します。

2022 年 3 月 12 日
東海私大教連第 58 回大会